

令和8年度第4回 新宿区外部評価委員会第3部会 議事概要

開催概要

開催日：令和8年8月17日（月）

場所：本庁舎5階大会議室

出席者：

外部評価委員（5名）：稲継裕昭（部会長）、小杉美恵子、佐伯康之、塚田和寿、安井潤一郎

区職員（3名）：林副参事（特命担当）、西崎主査、久住主査

議題

- 1 評価の取りまとめについて

議事要旨

1 評価の取りまとめについて

【主な議論・意見】

◆計画事業17 大久保通り周辺（大久保地区）のまちづくりの推進

【部会長】

「計画どおり」という意見で委員5人が一致している。評価は「計画どおり」とし、各人の意見をまとめて記載することとしたい。

内容が質問の形式となっているものは部会としてとりまとめる評価には入れないこととよろしいか。

【委員】

差し支えない。

◆計画事業33 歌舞伎町地区のまちづくり推進

【部会長】

委員4名が「計画どおり」、1名が「計画以下」と評価した。「計画以下」と評価した委員のご意見は。

【委員】

色々なことをやったとしても、歌舞伎町のイメージは大きく変わらないだろうと思っている。ただし、区は計画を立てて計画どおり進めていると思うので、「計画どおり」としても構わない。

【部会長】

計画の中にイメージアップが直接入っているわけではないので、その部分の記述は入れないこととしたい。

シネシティ広場を活用したイベントについては、私ともう1名の委員で触れているので盛り込むこととしたい。

「今後の取組の方向性に対する意見」と「その他意見・感想」に各委員が記載した内容もとても良い指摘なので、活かすこととし、この事業の評価は「計画どおり」でまとめたいと思う。

◆経常事業 378 安全安心推進活動の強化

【部会長】

この事業は、全員が「適切」と評価している。客引き防止パトロール、防犯リーダー実践塾、警察との連携等、実施している取組が全部入るような形でまとめられればよいか。

客引き防止の効果測定について記載している委員は、少し他の委員とは違うニュアンスで書かれているか。

【委員】

渋谷で客引きに関する問題が少し解消される一方、新宿に流れてきているとの報道を見聞きしたことがあったため、記載した。ただし、直近の状況は把握していない。

【部会長】

客引き防止パトロールは行っているが、その効果について確認が必要との意見も委員の中にはあるということ。

【委員】

ただ、こういうことをやりますと区が書いている取組については評価しておかないといけない。

【部会長】

アウトカムは分からないが、アウトプットを評価するというご意見だと思う。

【委員】

区に対して優しすぎるかもしれない。歌舞伎町近辺は発展途上で、まだ成果を見るには早いという気がしている。

【部会長】

地域との連携は当然だが、警察との連携も大切なので、そこも入れてまとめたいと思う。

◆経常事業 380 防犯対策の推進

【部会長】

4名が「適切」、1名が「改善が必要」と評価している。「改善が必要」とした理由は。

【委員】

当初7,000件を予定していたものが900件にとどまっている一方、予算額が1億5,100万円で、事業経費として1億3,900万円を執行している。件数と金額の関係が分かりにくい。内容というより、記載の仕方に改善が必要では。部会としての評価を「適切」とするのは構わない。

【部会長】

そのことはその他意見・感想の欄にも書いていただいているので、それを残して、部会の評価としては「適切」とする。

今後の取組の方向性に対する意見は、効果測定の方法を検討してもらいたいという意見がある。また、その他意見・感想も各委員のものを残すということによろしいか。

◆経常事業 396 路上喫煙対策の推進

【部会長】

委員 5 人中 4 人が「適切」と評価している。部会として「適切」の評価でよろしいか。各委員の記載を取りまとめて「条例に基づく啓発や指導を継続して実施し、路上喫煙率がおおむね低水準で維持されており、評価できる」という形でまとめさせていただきたい。

今後の取組の方向性に対する意見で、もうやめてしまってよいのではというような意見があるが。

【委員】

路上喫煙対策というのは景観の問題なのか、安全の問題なのか。景観の問題であれば、路上喫煙率が十分に少ないと私は感じているので、路上喫煙禁止パトロールということを経験してやる意味って本当にあるのかなと感じた。治安を良くするために行っているのであれば、喫煙だけにフォーカスする意味があまりないように思う。

【部会長】

その他意見・感想のところに集約するのでよいか。

【委員】

部会長ご提案の形でよい。

◆経常事業 403 ポイ捨て防止ときれいなまちづくり

【部会長】

全員「適切」と評価している。町会や企業、ボランティア団体との連携という視点は大変。他に加えたほうがよいものは。

【委員】

地域住民の人たちと一緒に巻き込むというのは確実に数字に出てくるという気がする。また、他自治体との連携が見えにくいのはもったいない。ごみの問題でも出てくるが、地域外を見る目も必要だと思う。

【部会長】

他自治体の取組などについても引き続き注視してもらいたいというふうな形で、その他の意見・感想の欄に加えるということで如何か。

◆経常事業 423 ねずみ駆除相談・ハチ衛生害虫相談

【部会長】

「改善が必要」という評価が多い。1 名が「適切」としている。

【委員】

相談件数が増加する中で、相談の対応は実施されているかなとは思っている。「適切」としたが、「改善が必要」としている委員の意見を見るとごもっともだなと思うところもある。

【部会長】

部会の意見としては「改善が必要」とさせていただく。

今後の取組の方向性に対する意見で、どこまでやるべきなのかが明確ではないとある。

【委員】

歌舞伎町や大久保といった商業地域でやるのか、それとも、例えば住民の個別の自宅とかまで手を広げてやるべきなのか、フォーカスが必要なのかなと思う。

【部会長】

ごもっともな意見と思う。

【委員】

支援の対象と、周知をどうするかというフォーカスを決めたほうがよい。

◆経常事業 515 一般廃棄物の収集運搬業務

【部会長】

全員「適切」と評価している。

【委員】

資料の問題だと思うが、何をもって「適切」とするのか。例えばごみの量と、ごみに対してかけているコストとか、そういったものを指標として評価する必要があるんじゃないかと思うが、我々が受け取った資料だと、どうしてもそういうところが見えない。

【部会長】

その他意見・感想の欄に今の内容を記載することとしたい。

◆経常事業 999 雑踏事故防止対策等

【部会長】

全員「適切」と評価している。

先ほど別の事業でもあったが、「他区の実践を調べる」と記載していただいているのは残す。

◆経常事業 395 民泊の適正な運営の確保

【部会長】

各委員から多くの意見が出た。評価は「改善が必要」で全員一致している。

【委員】

民泊をやっている物件というのは、個人が住むことができなくなってしまう。住宅価格が高騰している中で、若い人が新宿区に住めない状態になってしまう。商業地域はともかく、住居地域で民泊を推進していくべきなのかどうか。

【委員】

警察の方と、住居地域のほうが事件の発生率が多い、それは地域の人たちが自分の地域を見ているということなんじゃないでしょうかというやり取りをしたことがある。家主不在型はいかかなものかと思う。

【委員】

新宿区の民泊は商業であるといえる。ビジネスの地域と住む地域は分けないといけないんじゃないかと思う。

【部会長】

この部会のテーマは住まい周辺の環境悪化対策である。エリアによって分けて考える必要があると思っている。

【事務局】

委員のご意見は、「改善が必要」という方向性でおおむね一致しているものと認識している。部会としての評価の表現としては、これまでの区の実践も踏まえつつ、行政による関与や確認、指導の実効性をより高めていくという方向で表現を整理してはどうか。

【部会長】

今後の取組の方向性に対する意見を委員5名とも記載している。方向性は全員同じと思われるので、全て残すことでよろしいか。

【委員】

先ほどの、地域性についての内容は前面に出したら如何かと思う。

【部会長】

その他意見・感想も各委員が記載した3点を残したいと思う。

◆評価対象テーマ 住まい周辺の環境悪化対策

【部会長】

テーマ全体の評価は、全員が「やや不十分」としている。

【委員】

部会長の意見と、各委員の意見をベースにまとめていけばよろしいのでは。

【委員】

国との連携というのは、私も、他委員も意見を書いている。

【部会長】

そのことも入れていただく形で。

今後の取組の方向性に対する意見は、縦割り廃止の話を書いた。他委員から出た、区として強い対策を打ち出すというのと、評価指標の設定が大事であるという意見をあわせて、3つとも残してよろしいか。

【事務局】

テーマ全体に対する評価をまとめていただいているが、現在の記載では、民泊に関する意見として読まれる可能性もある。そのため、テーマ全体の意見として整理するか、民泊に関する意見として整理するかについて、ご意見を伺いたい。

【委員】

民泊だけのことを言っているわけではないので、他の人の意見に融合してもらっても構わない。

【部会長】

書いていただいた内容は「経常事業 395 民泊の適正な運営の確保」の評価シートに移すとちょうどよいかと思う。

【委員】

今さらの話ではあるが、「歌舞伎町地区のまちづくり推進」の事業に、歌舞伎町周辺に集まる青少年をめぐる問題が扱われていなかったのはなぜか。

【事務局】

評価対象となっている令和7年度当初の時点では、この課題に特化した計画事業や経常事業として位置付けられていなかった。取組を行っていなかったということではないが、個別の事業として位置付けられていなかったため、今回の評価シートには記載されていない。

なお、今年度は東京都や警察等とも連携しながら定期的な協議の場を設けている。また、子どもの安全確保のため、パトロールの強化やSNSを活用した周知啓発など、様々な取組を進めている。

◆行政評価手法への意見

【委員】

事業者と話をしても、1年でこんなに変わっていくのかという実感を持った。スピード感というところも考えたほうがよいのでは。

【部会長】

一昨年までの個別施策の評価だと、あまり評価になじまない事業も一律で評価対象となるため、やり方を見直しましょうという話で、テーマ別評価に変更したという経緯がある。

内部評価の数字の出し方について意見する機会は、どういうタイミングであればよいのか。テーマが決まった段階で内部評価の内容を見せてもらい、意見を言う機会があってもよいのでは。

【事務局】

外部評価の対象となる事業は、実行計画の中で枠組みが定められており、事業概要や指標、目標値なども設定されている。そのため、外部評価委員の皆様から事前にご意見をいただいたとしても、直ちに変更することは難しく、まずは情報提供が中心になると考えている。

昨年度の外部評価では、KPI や定量的な指標の充実についてご意見をいただいている。根本的な見直しについては、次期実行計画の策定を見据えて検討することとなるため、いただいたご意見は計画担当部門にも共有している。

一方で、評価シートへの記載方法や実績の説明の仕方については、工夫できる部分があると考えている。引き続き、分かりやすい記載となるよう工夫するとともに、指標の根本的な見直しについては、次期実行計画の策定を見据えて検討していきたい。

【委員】

自身の経験から、他自治体との比較をしたり、数字を見るというのが重要と考える。

【部会長】

自治体職員には、数値の分析や活用に課題がある場合もあるかもしれない。

【委員】

商店会の会長が高齢化し、次代につながらないという課題意識を持っている。その点について外部評価委員会で取り上げることは可能なのだろうか。

【事務局】

現時点では今後の評価テーマが決まっていないため、この場で具体的に申し上げることは難しいが、商業・文化・観光・産業といった分野も、今後テーマを検討する際の一つの視点になると考える。

担い手不足や高齢化は、今年度の第2部会で扱っている町会・自治会でも課題として挙げられている。こうした地域活動の担い手不足については、個別の事業にとどまらず、全庁的な課題の一つとして捉える必要があると考える。

【事務連絡】

・事務局より、今後のスケジュールについて説明した。